

どんな条件で受講できるの？

- 対象者 大学・研究機関等において、図書館、電子計算機およびネットワーク等の業務に従事する職員
- 前提となる知識 学術情報流通基盤の構築、運用および管理等の概要を理解していること
- テーマ 学術情報流通基盤整備に関する課題の解決を目的とし、国立情報学研究所、派遣機関および研修生との間で協議の上決定します
- 期間 数か月程度（3か月～1年以内で個別調整）
修了者には修了証書を授与します
- 経費 研修費及び教材費は無料とします
就業規則の適用、給与、諸手当、住居等に関する事項については、国立情報学研究所と派遣機関との間で協議の上決定します

詳細は…

実務研修のウェブページで！

<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/jitsumu/>

初回（平成17年度）からの成果を公開しています

まずは教育研修事業担当へお問合せ下さい！

* 表紙の写真：平成28年度実務研修風景
（研修生：一橋大学 赤木さん）

問合せ・申込み：

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課 教育研修事業担当
edu@nii.ac.jp 03-4212-2218 <http://www.nii.ac.jp/hrd/>

国立情報学研究所 平成29年度 教育研修事業 実務研修生募集



出版社との交渉



JUSTICE
事務局での実務



開講式にて



研修テーマに関する
聞き取り調査



版元提案説明会にて

実務研修とは？

国立情報学研究所（NII）学術基盤推進部における On the Job Training（OJT）を通じて、大学図書館や情報センター等が推進する学術情報流通基盤整備の中心的役割を担う人材を育成することを目的としています。

受入先はどんなところ？

● 学術基盤課

SINET, 学術認証基盤（学認, UPKI証明書, 学認クラウド）, セキュリティ基盤等の開発・運用や教育研修事業を行っています。

● 学術コンテンツ課

NACSIS-CAT/ILL, CiNii, KAKEN, 機関リポジトリ, ERDB-JP（国内電子リソース管理データベース）等の開発・運用やSPARC Japan事業を行っています。

● 図書館連携・協力室

JUSTICE（大学図書館コンソーシアム連合）の事務局で、電子ジャーナルなどの出版社との契約条件交渉等を行っています。

研修生はどんなことをしているの？

● 平成28年度研修生業務日誌より ●

テーマに沿ったプログラムを自主的に組んでいただけます。

もちろん、スタッフが全力でサポートします！



1ヶ月目

- ・開講式
- ・学術コンテンツ課/JUSTICE事業説明
- ・出版社との交渉
- ・第2回JUSTICE運営委員会 / 広報作業部会
- ・研修テーマ進捗打合せ
- ・事例調査, まとめ

2ヶ月目

- ・出版社との交渉
- ・版元提案説明会
- ・他大学への聞き取り調査
- ・事例まとめウェブページ作成
- ・研修テーマ進捗打合せ

3ヶ月目

- ・事例まとめウェブページ公開
- ・成果発表資料作成
- ・閉講式

どんな研修テーマがあるの？

研修テーマは、研修生の希望をもとに、国立情報学研究所、派遣機関および研修生との間で協議の上で決定します。

● 平成26～28年度実績

一橋大学	電子資料契約見直し事例に関する調査（JUSTICE事務局）
筑波大学	電子リソースの利用統計の収集 管理および活用方法に関する調査（JUSTICE事務局）
新潟大学	電子ジャーナル契約見直しに関するモデルケース作成に向けた調査・検討（JUSTICE事務局）

● 平成25年度実績

広島大学	機関リポジトリ等に集約された多様なデータを、ユーザに提供するための情報検索についての考察（学術コンテンツ課）
お茶の水女子大学	学認を用いたシングルサインオンによる全学システム整備に関する調査・検討（学術基盤課）

● 平成24年度実績

琉球大学	IRDBコンテンツ分析システムを用いデータ分析を通じた機関リポジトリの現状把握（学術コンテンツ課）
大阪大学	電子情報資源を含む学術情報発見システム構築に向けた調査・検討（学術コンテンツ課・JUSTICE事務局）